

KYOSS（教育学部セイファー・スペース）の紹介



2022年4月から、KYOSSが始動します。KYOSSは附属バリアフリー教育開発研究センター内の一組織で、以下がベースコンセプトになります。

多様な背景・興味関心をもつ学生・院生・教職員・中高生など地域の方々が、多様なトピックをメディアとして、多様なかたちで緩やかにつながり合い、表現し合い、学び合うことを支える「知のプラットフォーム」

多様なトピックとして現在候補にあがっているのが、読書会、哲学対話、当事者研究、映画鑑賞、スポーツ全般（する／観る）、料理、手芸、写真などです。

多様なかたちとは、対面、ハイブリッド、オンライン、作品などです。

現在、学生／院生18名、教職員2名が立ち上げメンバーとしてかかわっています。2022年4月以降、希望者が複数あつまり次第、各トピックの活動を開始します。今後はInstagramとTwitterで情報を発信していきますので、興味のあるかたは是非フォローをお願いします。運営メンバーも随時募集中です！



【連絡先メールアドレス】 kyoss2022@gmail.com

KYOSSのコンセプトを具現化したKYOSSラウンジ（写真）も4月から開放されています。赤門総合研究棟2階、A200教室の横にあるので、ぜひ使ってみてください。KYOSSラウンジの隣には、オールジェンダートイレも新設されています。



【オンラインシンポジウムのお知らせ】

「誰もが来たくなる大学」を目指した多様な知性の創出
—KYOSS（東京大学教育学部セーフアースペース）・オールジェンダートイレの 開設記念
式典&シンポジウム—

2022年4月3日（日）13：00～15：10

第二部前半：KYOSS の運営を担う学部生・院生の座談会

教育学部新3年生、教養学部新3年生、教育学研究科・文学研究科の修士課程の院生が登壇します。

第二部後半：KOSS（駒場セイファー・スペース）に関連する教員とKYOSSの可能性について語る

詳細・登録はこちら

<https://select-type.com/ev/?ev=BxX7TA-vFzc>

学生の座談会は、KYOSS ラウンジで行います。KYOSS ラウンジに学生たちのどのような意見・希望が採り入れられたのか、今後KYOSS をどのように運営していきたいのかなどを自由に語ります。興味があればぜひご視聴ください！

